

愛知総合工科高校附属中学校 Q&A 集 (2026年9月現在)

これまでいただいたご質問について、Q&A 方式でご回答さしあげます。

ご不安な点や個別の相談については附属中学校(052-784-6358 担当:副校長)までご連絡ください。

	質問	回答
A 学校全般について		
1	35人募集ということで、学年で1クラスのみになりますか？ 今後、学級数が増えることはありますか？	学年1クラスのみです。小規模校となりますが、異学年や高校生、専攻科生との交流機会を設けることで、他者との交流の場をできる限り確保します。 今後の募集定員について、本校に決定権はなく、愛知県教育委員会の募集計画によります。
2	附属中学校にはどのような先生が配置されていますか？ 愛知総合工科高校の先生も中学校にかかわってもらえますか？	小・中学校での勤務経験をもつ教員と、高校での勤務経験をもつ教員が配置されています。義務教育での学齢に応じた指導経験と高校における専門的な学びの両面を生かした学校づくりを行っています。 また、愛知総合工科高校の教員も積極的に中学校教育に関わっており、専門的な学びにつなげています。
3	他の中学校と違い、附属中学校独自で必要となる経済的な負担はありますか？	本校は県立(公立)学校のため、授業料や入学金は不要です。ただし、本校だからこそできる、特色ある学びを提供するため、市町村立中学校より経費がやや多くかかることが見込まれます。 おおよその目安として、教材費や給食費などを合わせて、毎月15,000～20,000円(年間で総計20万円)程度の集金額とし、年3回に分けて集金させていただきます。
4	中学生が参加できる部活動はなんですか？ 今後参加可能な部活動が増えることはありますか？	中学校独自での部活動設置は行いません。ただし、高校の工科系部活動のうち中学生の受け入れが可能なものについて、体験的な活動を行っています。 2026年では「理工探究部」「STEM研究部」「化学技術部」「機械技術部」「電気技術部」「建設技術部」「デザイン技術部」の7つで中学生の参加を受け入れています。また、自由参加且つ一人一部活を原則としています。 運動部を含めた他の部活動への参加は現時点では未定です。ただ、受け入れ可能な部活動数を増やすにしても、自律自主を重んじる学校として、大人が準備するのではなく、生徒たちからの働きかけをきっかけとしたいと考えています。

5	中学生の部活動等への参加時間は決まっていますか？ また、高校生の中で中学生が、どの程度の活動ができますか？	中学生は帰宅時の安全面も考慮し、部活動の有無にかかわらず、年間を通して17時を最終下校としています。今年度の部活動は基本的に毎週火・金の2日間を基本としていますが、それ以外の日にも探究活動や自主学習で最終下校まで残っている生徒は多くいます。 部活動での活動についても各部で様々です。各部活動の顧問が生徒と相談しながら活動内容を考案いただいています。高校生と一緒に探究を行ったり、機械の操作方法を教えてもらったりと、高校生と一緒に活動するからこそその学びも本校ではよく見られます。 そのことから、生徒には「何をさせてもらえるかな」と、与えられることを待つのではなく「〇〇をやらせてください。」など、積極的な発信が行われることを期待しています。
6	学校外のクラブチームへの参加や学習塾に通うことはできますか？	可能です。学校外での活動に制限は設けません。一期生にも、休日には地域行事やスポーツクラブで活動をしている生徒が多くいます。 なお、本校は中体連や文化連盟には所属しません。そのため、個人種目であっても本校の部活動として大会に参加することはできません。
7	障害等のある生徒への配慮はありますか？	個別の指導計画や学校生活管理指導表をもとに、学校生活において可能な範囲に限り、合理的配慮を行います。配慮内容や方法についての詳細は個別にご相談ください。 ただし、本校には特別支援学級は設置されず、支援員配置の予定はありません。恒常的に個別の支援ができるわけではないことをご理解ください。 受検時の配慮については、「愛知県教育委員会 高等学校教育課 中高一貫グループ」までご相談ください。
8	女子生徒はどのくらいいますか？	一期生では、入学生の約30%が女子生徒となりました。 産業界では、ものづくり・理系の女性人材が多く求められています。そのため、本校でも多くの女子生徒の入学を期待しています。 また、高校では女子中学生向け説明会を実施しており、附属中学校の開校に伴い女子更衣室を新設するなど、女子生徒の受け入れに向けた環境整備をすすめています。
9	スクールカウンセラーの設置など、校内のカウンセリング体制を教えてください。	日頃より、チーム担任制・少人数規模というメリットをいかして、生徒を多様な目で見守ることで、きめ細かなカウンセリングを行っています。 中学校におけるスクールカウンセラーの配置について、2026年度は月に1日程度ですが、学年進行で生徒数が増えることで、将来的には月に2～3日の設置になるのではないかと考えています。

B 教育内容について

1	工科高校の附属中学校ということで、工業に関する教科が設置されたり、国語や社会の授業が減ったりすることはありますか？	本校では総合的な学習の時間の時間数を増やして、理工学・情報・ものづくりに関するテーマを中心に、探究的・体験的な学びを数多く取り入れると共に、教科との連携を図ります。 しかし、工科高校の附属であっても、中学校として義務教育を行うため、学習指導要領に基づいた普通教育を実施します。総合的な学習の時間以外の教科時間数や種類については、市町村立の中学校と変わりません。
2	チャレンジ100ではどのような体験ができますか？ 本物の「ものづくり」などに触れる機会は多くありますか？	理工学・情報・ものづくりに関しては、高校の教育資源を活用し、社会で活用されている技術を実践的に体験します。特に高校の5系列（理工・機械・電気・建設・デザイン）につながる内容を充実させます。 また、仲間づくりやキャリア学習など、理工学以外の分野についてもバランスを考え、多様な体験を準備しています。 ほかにも、校外に学習へ行く、企業などから外部講師を招いた講座も数多く開催しています。 これまでの活動については、本校の Web ページにて多く紹介しています。ぜひ日付をさかのぼってご覧ください。
3	数学・理科だけでなく、英語でも少人数授業を取り入れるのはなぜですか？	本校ではグローバルに活躍できる人材育成も目指しています。そのため、英語の授業を少人数できめ細かに行うとともに、グローバル教育プログラムの導入を行っています。
4	通知表や評定（内申点）の付け方は他の中学校と違いますか？	評定の付け方や評価方法は、義務教育を行う学校として他の中学校と同様です。 通知表の様式についても、多くの中学校と大差ありません。ただし、前期は観点評価のみ・後期に学年合計の観点評定をお示しする形での発行となります。
5	1人1台端末は配付されますか？また、活用する予定はありますか？	県で準備したタブレット端末を全員に貸与します。教科授業だけでなく学校生活の全般や総合的な学習の時間でも積極的に活用し、社会で役立つスキルの習得を目指します。
6	中学校在学中から資格・検定などを受検することはできますか？ また、授業で資格取得を行うことはありますか？	全国工業高等学校長会主催の検定のほか、電気工事士やMOS、P 検などの資格・検定を、部活動や個人の興味に応じて紹介・支援しています。 高校では授業・部活動を中心に多くの資格取得に向けた指導を展開していますが、中学校の授業では資格取得に向けた全体指導を行うことはありません。
7	家庭学習はどのくらいの分量をだされますか？ （特に夏休みの課題など）	固定化した家庭学習をだすことはしていません。 生徒の「自律・自主」を育むため、一律に課すのではなく、生徒自身が必要に応じて取り組める形をとっています。 長期休暇の課題についても、多くの中学校で採用されているような教科別ワークに類するものは課しておらず、テーマを決めた探究活動をその中心としています。

8	不器用で工作などが苦手なため、学習や体験に不安があるが、大丈夫ですか？	本校で行う多くの体験は、中学生の発達段階や安全性を十分に考えて行います。 そのため、不器用だとか身体障がいに関係なく、理工学やものづくりへの高い意欲があれば大丈夫です。
9	発表する機会が多いということでしたが、人との関わりが苦手で心配です。大丈夫でしょうか？	社会につながる工科高校の附属中学校として、早い段階から、発表する、人とつながる機会を多く取り入れます。積極的に取り組むことで、自信をもてるよう支援しています。
10	中学校に図書室はありますか？	中学校専用の図書室はなく、高校の図書室を中学校と共用しています。現在、図書室の蔵書数は約 9,000 冊です。今年度からは中学生向けの蔵書を増やしています。 高校の開館時間は昼休みと業後に設定されており、中学生もそれに準じています。
11	定期テストを行わないということでしたが、自分の学力を客観的に知る機会がありますか？	本校は継続した学習意欲の継続を目的に、いわゆる定期テストは行わず、教科ごとに小テスト・単元テストを取り入れています。 また、5教科（国語・社会・数学・理科・英語）については前後期の期末に民間の実力テストを行うことで、その時期における自分の理解度を客観的に知ることのできる資料として活用していきます。

<u>C 行事について</u>		
1	修学旅行の行先を子ども主体で決めるということでしたが、次年度以降もその予定ですか？	修学旅行は、生徒とともに行き先や目的を考えていきます。 これについては、少なくとも当面の間は同様とする方針です。（旅行社ともその条件にて契約をしています。） ただし、県立の中学校として、愛知県の準則（関東・中部・近畿地方を宿泊地とする）に沿った実施を基本としています。
2	学年に1クラスしかない学校で、どのように体育大会や文化祭を行うのですか？	学校行事は可能な限り愛知総合工科高校と合同で開催し、高校生との交流や、高校生の学習成果を中学生が享受できる環境を整えています。今年度は体育祭もMTE祭（文化祭）も中高合同にて開催します。
3	年間を通した行事や学習予定を教えてほしい。	現在、一期生とともに日々の生活づくりを行っている最中です。各種行事や体験的な学習などについて、都度、Web ページにて公開していくので、そちらをご参照ください。

<u>D 学校生活について</u>		
1	チーム担任制ということでしたが、どのような形で導入しますか？	生徒に他責思考を持たせない。多様な目で生徒を見守ることが出来る。など多くの理由から、本校では「教員全員が学級担任である」と意識し、チーム担任制を導入しています。 毎日のST（朝の会や帰りの会）や給食・学活・道徳の時間など、教員が入れ替わり学級担任として生徒とともに生活して

		います。 また、保護者会（個人懇談）では、対応する教員の希望もとりにながら、相談いただける環境を作っています。
2	食物アレルギーがあるが、給食でアレルギー除去食対応はありますか？	本校の給食は業者納入の一括ランチボックス形式であり、アレルギー対応はできません。 また、愛知県立の学校では部分配膳や自己除去が認められていないため、アレルギーのある場合は弁当持参をお願いします。詳細は個別にご相談ください。
3	給食を注文せずに、弁当を持参することは可能ですか？また、給食を注文しない日を設定することはできますか？	事前に登校しない日が分かっている場合やアレルギー対応、宗教上の理由等、事前に学校に連絡をしていただくことで、給食を注文しないことも可能です。 連絡方法等の詳細については、入学説明会でお知らせします。
4	自転車通学はできますか？	可能です。利用範囲の制限ありません。ヘルメット・レインコートの着用や交通安全・ルールについて、ご家庭でも注意喚起をお願いします。 また、自転車通学の際は防犯登録や学校指定のステッカー貼付をお願いしています。
5	スマートホンや GPS を持たせることは可能ですか？	登下校時の安全管理や緊急連絡のため、スマートホン等の持参は認めています。 一方で中学生においては、その発達段階を考慮して、校内での利用は制限しています。
6	登下校を自家用車で送迎してもいいですか？	本校には十分な駐車場がないため、原則として自家用車で送迎や来校はご遠慮ください。ただし、特別な配慮が必要な場合や緊急時はこの限りではありません。
7	工科高校の附属中学校ということで、校則は厳しくなりますか？	融合型の中高一貫校として、校則などの決まりは高校に準じています。ただ、工科高校だからと言って、特別に厳しいわけではありません。 今年度からは校則検討委員会も中高合同で開催することとなり、これまで以上に「社会につながる工科高校に接続する学校」であること、「自律を教育目標に掲げる学校」であることの両面から、生徒とともに新しい校則をつくっていく予定です。
8	制服以外の学用品はどのようなものがありますか？	体育用ビブスと体育館シューズ、校内スリッパについては学校指定品の準備をお願いします。一方で、ご家庭の負担を抑える方法も検討しています。 作業服などの斡旋販売を行うこともありますが、作業時の服装などについて、中学校段階においてはご家庭にあるシャツなど、簡易なもので構いません。
10	登下校時に買い物をすることや、校内の自動販売機の利用は認められますか？	遠方から通学する等、登校に時間を要する生徒が多くなることから、学外での買い物に制限を設けていません。また、校内の自動販売機の利用についても同様です。 ただし、貴重品の管理は各自の責任で行ってもらいます。

11	登下校時の服装に規定はありますか(猛暑時など)?	本校は制服としてポロシャツなどを選択できること、公共交通機関の利用者が多いことなどから、登下校は制服を基本としています。
12	遠方からの通学となることが考えられるが、毎日持ち帰る学用品はどのくらいの重さになりますか?	学校から長期休暇や試験時期を除き、教科書やノート等学習用具の持ち帰りを指定することはありません。自分自身で責任をもった持ち物管理をできる生徒を育成します。 一方で、県立の附属中学校では貸与したタブレット端末を毎日持ち帰ることが想定されているので、タブレット端末については日々の持ち帰りをお願いしています。
13	休み時間はどのような過ごし方をしていますか?	給食後、4限授業までの間に15~20分程度の休み時間があり、一期生の多くは教室やテラスで友人と歓談したり高校生と交流をしたりと思い思いの過ごし方をしています。 一方で、小中学校で行われているようなボールの貸し出しなどは行われていないために、グラウンドで遊んでいるなどの姿を見ることはほとんどありません。

E 入学者選抜について

※本項目については、愛知県教育委員会の [Q&A](#)、[入学者選抜](#)の各ページをご覧ください。

1	適性検査ではどのような問題がでますか? 対策や傾向はありますか?	適性検査はすべて学習指導要領の範囲内で出題されます。複数の教科を組み合わせた内容で、英語の内容は出題しません。また、知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力等を測ります。全問選択式で、マークシートでの回答となります。 詳細は県教育委員会の Web ページをご覧ください。
2	志願理由書に記述する探究活動の内容は理工学やものづくりに関する内容でなければなりませんか?	志願理由書には、志願者本人が自らの好奇心に基づいて行った探究活動の経験を中心に記入してください。 なお、探究活動の内容について、指定はありません。
3	二次選抜の面接ではどのような質問がされますか?	志願理由書の内容をもとに、志望動機や探究活動の経験などについて質問します。
4	受検倍率はどのくらいになりますか?	一期生の入学志願者は100人であり、倍率は 2.85 倍でした。また、2026 年度の学校説明会の申込件数は昨年度の2.3倍ほどとなりました。

F 中高の接続について

1	附属中学校から愛知総合工科高校に進学するための条件はありますか?	ありません。全員が無試験・無条件で内部進学できます。
2	附属中学校卒業時に他の高校を受検することはできますか?	愛知県立附属中学校では、6年間の計画的・継続的な教育を行うことを想定しています。なお、愛知総合工科高校への内部進学の特典を辞退した上で、他の高校を受検することは可能です。

3	高校進学時に、他の中学校から入学してきた生徒とクラスは混ざりますか？	現在検討中です。本校入学後の学習や生活の様子をみて判断します。
4	愛知総合工科高校進学後に理工科以外の学科へ進むことはできますか？	本校は理工科への進級を基本としており、理工科には無条件で進級することができます。理工科への無条件進級を辞退した上で、高校から入学した生徒と同じように選科を行うことは可能です。
5	工科高校の附属中学校ということで、デメリットはありますか？（例：外部受検が難しくなるなど）	工科高校附属ということで、理工系や情報などの分野については非常に高度な探究活動ができる一方で、人文系（文学や歴史など）の教育・探究資源は十分ではありません。そのような興味を強く持っている場合は、学校生活を楽しめないかもしれません。 一方で、学習面については前段の通り、工科高校の附属であっても中学校として義務教育を行うため、学習指導要領に基づいた普通教育を実施します。そのために、受検についてのデメリットはあまり考えられません。 （上記について、本校は中高一貫校である以上、中学卒業後は内部進学を基本としています。外部受検については、ご家庭の責任で受験情報を得ていただくなど、学校では十分な支援ができないことも考えられます。）

G 高校について		
1	高校卒業後の進路にはどのようなものがあるか教えてください。	愛知総合工科高校は将来日本を支えるテクノロジストの育成を目指す工科高校で、進学にも力をいれています。毎年卒業生の6割程度が進学（本校専攻科を含む）、4割程度が就職しています。 毎年、進学者の1割程度が年内入試などの制度を活用して国公立大学へ進学をしています。また、地元の大手企業に就職したり、技術職を中心に公務員として採用されたりするなど、幅広い進路実現が可能です。 詳細は高校の Web ページをご覧ください。
2	附属中学校から高校に進学した生徒は、高校から入学してきた生徒と比べて、進路選択で有利になることはありますか？	大学入試や就職試験で特別に優遇されることはありません。ただし、早い段階から探究活動に取り組み、理工学・情報・ものづくりを中心とした経験を積むことで、多様なキャリアを知り進路実現に向けた準備ができるという利点が考えられます。
3	入学後に行われる選科の方法について教えてください。	現在の高校では、1年生の後期から5系列（理工系・機械系・電気系・建設系・デザイン系）に分かれ、2年生から7学科（機械系が機械加工科と機械制御科、電気系が電気科と電子情報科となる）に分かれて専門教科を学習しています。 選科は、生徒の適性・学習成績・生活態度等を考慮し、個人面接を実施した上、総合的に判断して行います。

4	高校入学後に文系に興味をもった場合、どのような進路が考えられますか？	数は少ないですが、総合型選抜や推薦入試を活用して文系大学へ進学する生徒もいます。ただし、工業科である愛知総合工科高校は普通科高校に比べて文系科目の授業時間は少なく、カリキュラムに含まれていないものも多いため、自力での学習負担は非常に大きくなります。 将来的な展望や進路希望を十分に考えたうえで出願されることを勧めます。
5	中学校で給食が導入されるにあたり、高校でも給食の提供が行われるようになりますか？	高校において給食が導入される予定はありません。 現在、高校生は弁当を持ってきたり、校内の購買を利用したりしています。 また、昨年度は、特定期間において注文弁当の配達を試行するなど、今後希望者への導入を検討しています。
6	高校卒業後の大学進学に向けて、「一般入試」や「年内学力入試」なども含めた対策はできますか？	高校では専門学科である特徴をいかして、「課題研究」や「実習」を中心とした実学を基盤とした研究実績や技術力をもとに年内入試とよばれる「学校推薦型」や「総合型選抜」に力を入れています。 また、学力の確実な定着を目指して、一般入試や今年度より解禁となる年内学力入試にも対応できるよう、高校においても数学・理科・英語科目で少人数授業を取り入れています。 ほかにも、早朝・業後・長期休暇を中心に補講・模試なども数多く開講し、進学を目指す生徒への手厚いサポートを行っています。

H その他		
1	附属中学校では PTA が組織されますか？	附属中学校では高校と一体化したPTAを組織しています。生徒のために保護者同士の連携も充実しており、参加されている方々からは好意的な声が多く聞かれます。 活動についても、家庭への負担とならないよう、様々な配慮をいただいています。
2	懇談会や授業参観はどの程度行われる予定ですか？	懇談会・授業参観は高校と時期を合わせて行います。 2026年度について、懇談会は7月・12月の年2回。授業参観は11月に開催予定です。それ以外にも5月にはPTA総会・学年懇談会を開くなど、保護者にも開かれた学校づくりを意識しています。 積極的な情報提供も合わせて、保護者の皆様とともに歩む学校づくりを進めたいと考えています。
3	台風による暴風雨（雪）警報発令時や災害発生時の授業はどうなりますか？	「学校所在地である名古屋市（千種区）」「生徒居住地」「通学経路の市町村」のいずれかで該当する警報が発令されている、もしくは災害などで安全な登下校ができない場合は「出席しなくてもよい日」として扱います。詳細は中学校 Web ページをご覧ください。

4	現在、居住地で就学支援を受給しているが、附属中学校でも継続して受給することはできますか？	県立附属中学校に在籍していても条件を満たせば就学支援の受給対象となります。 ただ、義務教育における就学支援は市町村の業務となるため、お住まいの市町村に申請いただくことになります。詳細は入学説明会でお知らせします。
5	ラーケーションの取得に制限などがありますか？	本校は「子どもの教育主体は家庭にある」「家庭における多様な学習機会の創出」という原則を意識し、可能な限りラーケーションの取得について制限を設けないようにしています。 現状では、式日・学校行事を行う日・校外学習実施日とその前日については、ラーケーションを取得できない日として設定していますが、それ以外の日程については申請をいただくことで、年に3日まで欠席扱いとせず自主学習活動に取り組んでもらうことが可能です。
6	愛知県から発表のあった愛知県立高専の教育内容や中学校とのかかわり方について教えてください。	愛知県立高専の設置については、「愛知県立大学法人」と「県民文化局 学事振興課 高専設置準備室」を中心に2029年4月の開校を目指して準備中です。 (教育委員会や愛知総合工科高等学校・附属中学校は設置主体にはありません。) 現在は上記組織を中心に、文部科学省への設置認可準備を進めている最中であり、中高との連携や入学者募集についてはその多くが未定となっています。県立高専の教育内容や今後発表される各種情報については愛知県 Web ページからご参照ください。 一方で「愛知総合工科高等学校・附属中学校・専攻科・県立高専」が併置されることで「ものづくり王国愛知における工業教育の中心地」が星ヶ丘に誕生することについて、本校としても非常に大きな期待感を持っています。 県立高専の開校が、本校にとってもよい形となるように、今後も様々な調整を続けていきます。